

様式（第8条関係）

政務活動費に係る収入及び支出の報告書

令和6年3月27日

角田市議会議長 馬場 道晴 殿

会派名 かくだ未来倶楽部

代表者 武藤 広一

角田市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、令和5年度政務活動費に係る収入及び支出について下記のとおり報告します。

記

- 1 収入 政務活動費 100,000円
2 支出

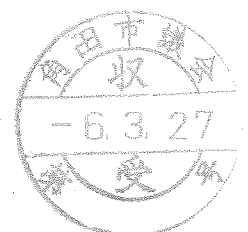
(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	68,907	
研修費	0	
広報費	0	
公聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	68,907	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 31,093円

4 経理責任者 瀧口 聖人



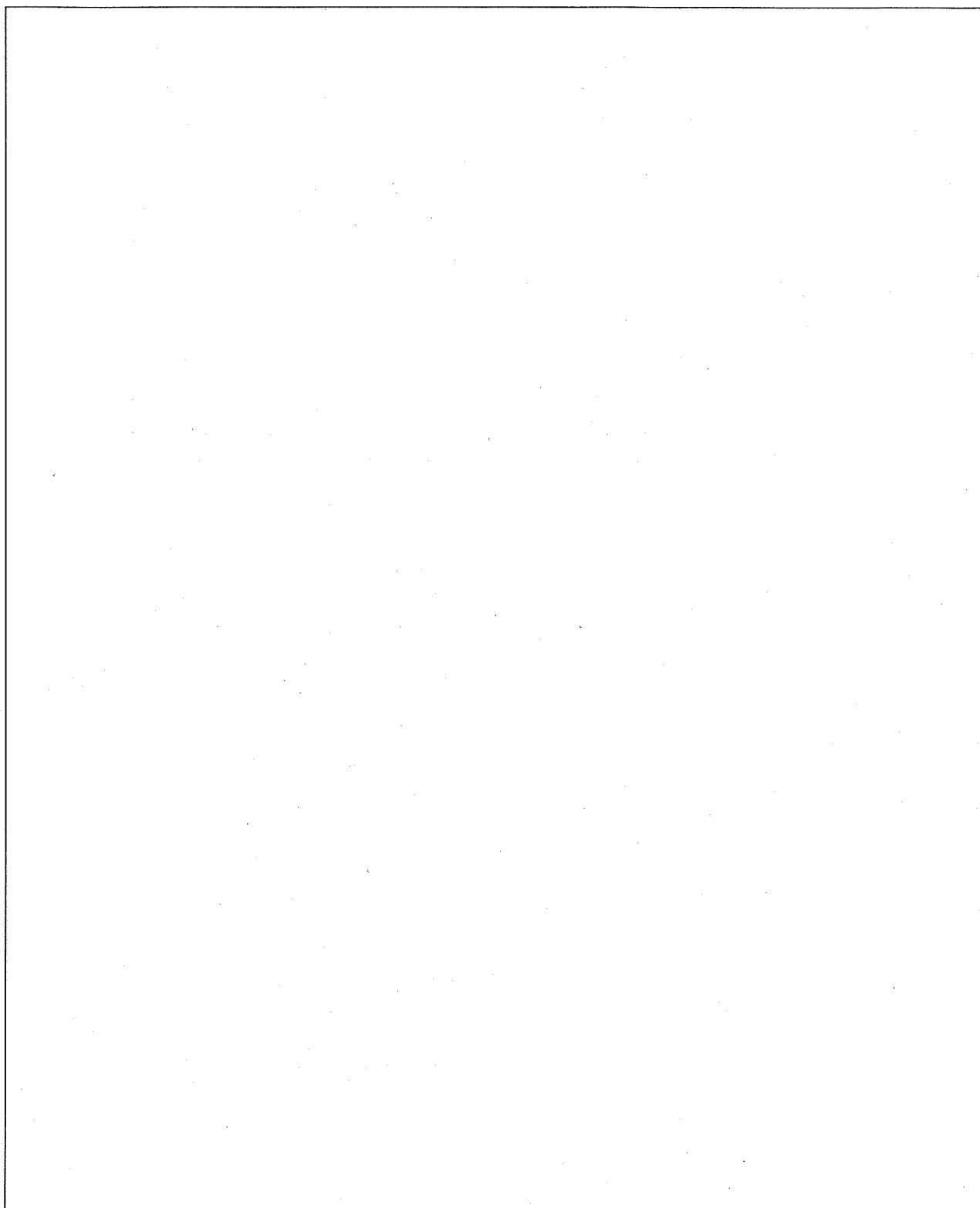
支 出 伝 票

			整理番号	1
会 派 名	かくだ未来倶楽部			
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費			
実施年月日	令和6年2月6日～7日	支出年月日	令和6年2月3日～7日	
支出金額	68,907 円	按分率	100 /100	按分後の額 68,907 円
支 払 先	(有)菓子処小田嶋ほか別紙のとおり			
使途内容	会派合同視察（福島県庁、福島県大沼郡金山町）			
備 考	お土産代(5,231円)宿泊代(22,950円)交通費(31,808円)食事代(8,918円)			
領収書添付欄	別紙			

※領収書は重ならないように添付してください。領収書添付欄が足りない場合は、裏面を使用してください。

様式第3号（裏面）

領収書添付用紙



※領収書は重ならないように添付してください。

令和5年度 かくだ未来倶楽部 会派議員行政視察決算書

令和6年2月6日～7日

単位:円

項目	金額	備考
お土産代	6,975	視察先へ(福島県庁・金山町役場)
ご宿泊代	30,600	ホテルトイン会津若松(@7,650×4名)
交通費	37,760	角田→会津川口→角田(阿武隈急行・東北新幹線・磐越西線・只見線)
タクシー代	4,650	福島駅→福島県庁→福島駅・会津若松駅→ホテル→会津若松駅
食事代	11,890	2/6(エスパル福島店内)(こらんしょ)2/7(おふくろ)
合計	91,875	一人当たりの 政務活動費 @22,968.75

以上、上記の通り決算報告致します。かくだ未来倶楽部会計 瀧口 聖人

かくだ未来倶楽部(3名)@22,968.75×3=68,907円

無会派・星議員(1名) @22,968.75×1=22,968円

合計 91,875円

0000-0118

かくだい未来倶楽部
と無会派宝隆悦

領収証

様

¥6,975-

(消費税 ¥517)

2024年 2月 3日 土曜日



但し、菓子処小田嶋
(有) 角田市角田字町249
*保管上のお願、
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

TEL 0224-62-2206
登録番号 T5370102001846

領収証No 2711

2個 x 単2,750	¥5,500
税品	¥1,475
税品	¥6,975
小計	¥6,975
消費税	¥517
(3)の消費税	¥7,000
お返し	¥25

* 領収証明細

非課税
3
軽減税率(8%)対象商品です。
登録番号 T5370102001846
1頁 0118 15時06分

視察代打お代代

福島県庁と金山町役場へ

領収書

No. 00011320-00

2024/02/06

角田市議会かくだ未来倶楽部様 無会派 星隆悦様

登録番号: T9010701012499

金額	¥ 30,600 -
----	------------

内訳
10%税込 対象合計 30,600 内消費税 2,781

但し、ご宿泊代
(現金)

として、
上記金額正に領収いたしました。

ホテルルートイン会津若松

〒965-0026 福島県会津若松市平安町1-5

TEL:0242-28-3370

FAX:0242-28-3321

ルートインジャパン株式会社

作成地: 東京都品川区大井1-35-3

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

担当者

普通 (片) 往) 回数

乗車券発行証明書

団体 定期

かくだ未来倶楽部と無会派星隆院 様

下記のとおり証明いたします。

区 間	枚数	単 価	金 額
角田 - 福島	4	280	1,120
-			
計			2,520

年 2 月 6 日

阿武隈急行株式会社 角田駅長



領 収 証

かくだ未来倶楽部と無会派星隆院 様

2024年 2月 6日

金 6, 440 円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

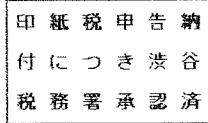
適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

福島802 No.000019

福島駅 → ~~会津若松駅~~ 郡山駅



領 収 証

かくだ未来倶楽部 様

2024年 2月 6日

金 4, 680 円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

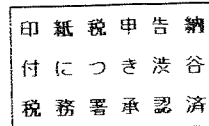
適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

会津若松302 No.000001

郡山駅 → 会津若松駅



領 収 証

2024年 2月 7日

角田市議会かくだ未来倶楽部様 無会派 星隆悦様

金9,360円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

会津若松駅 ⇄ 会津川口駅

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

会津若松804 No.000001

領 収 証

2024年 2月 7日

かくだ未来倶楽部と無会派 星隆悦 様

金10,240円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

会津若松駅 → 福島駅

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

郡山811 No.000028

2024年02月07日

領 収 書

領収No000152

かくだ未来倶楽部と無会派 星隆悦 様

¥3,520-

(但し として 正に領収致しました)

印

収入印紙

阿武隈急行(株) 福島駅

福島駅 → 南田駅

福島県福島市栄町1
電話 024-522-1322

印刷面を内側に折って保管願います

領収書

No. 2020

日付 2024年 02月 06日
車番 000606 0000
基本運賃 ¥760円

合計 ¥760円

上記の様に領収致しました

消費税率 10%

吾妻観光有限会社
福島県福島市成川字西谷地20-1
TEL 024-557-1241

(インボイス登録番号)

T8380002000226

福島駅→福島県庁

領収書

No. 7331

日付 2024年 02月 06日
車番 000607 0000
基本運賃 ¥760円

合計 ¥760円

上記の様に領収致しました

消費税率 10%

吾妻観光有限会社
福島県福島市成川字西谷地20-1
TEL 024-557-1241

(インボイス登録番号)

T8380002000226

福島県庁→福島駅

会津若松駅→ホテル

領収書

No. 1683

現・チ・ク・割引
日付 2024年 02月 06日 14:55
車番 000703 0000
基本運賃 ¥940円

合計 ¥940円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます

消費税率 10%
福島県喜多方市塩川町北18-2
塩川タクシー株式会社

TEL (0241) 27-2141

登録番号

T2380001018646

ホテル→こらんしょ

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 251号
2024年02月06日

乗車料金 ¥580円

立替金 円

(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。

登録番号:T1380001018564 消費税率 10%

葵 観光タクシー

会津若松市インター西8
TEL 0242-37-1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21-3
TEL 0241-27-8111

領収書

2024年02月06日 -017

メーター運賃 ¥580円

合計 ¥580円

(税率10%)

登録番号 T6380001020359

現金支払 ¥580円

無線番号 583

毎度ご乗車ありがとうございます。

会津乗合自動車(株)

会津若松市白虎町195

若松駅前(営) TEL 0242-38-1234

喜多方(営) TEL 0241-22-5555

猪苗代(営) TEL 0242-62-2222

こらんしょ→ホテル

領収書

2024年02月07日 -024

メーター運賃 ¥1,030円

合計 ¥1,030円

(税率10%)

登録番号 T6380001020359

現金支払 ¥1,030円

無線番号 565

毎度ご乗車ありがとうございます。

会津乗合自動車(株)

会津若松市白虎町195

若松駅前(営) TEL 0242-38-1234

喜多方(営) TEL 0241-22-5555

猪苗代(営) TEL 0242-62-2222

ホテル→会津若松駅

24. - 2. - 6 【領収証】
握り (特上)
1012 11:45
 魚河岸処 仙 福島店 ¥1980
 024-521-3010

24. - 2. - 6 【領収証】
海鮮丼
1010 11:44
 魚河岸処 仙 福島店 ¥1280
 024-521-3010

24. - 2. - 6 【領収証】
海鮮丼
1009 11:42
 魚河岸処 仙 福島店 ¥1280
 024-521-3010

24. - 2. - 6 【領収証】
海鮮丼
1011 11:44
 魚河岸処 仙 福島店 ¥1280
 024-521-3010

↑
 ← 2ABA 昼食代 1人 @ 1,000 × 4人
 = 4,000円

領 収 証

お代客俱樂部と無会派 星隆小児 様 No. _____

★ ¥4000

内 訳
 現金
 小切手
 手 形
 消費税 (10%)
 消費税 (8%)
 内税額計

但 飲食代

R6年2月6日 上記正に領収いたしました

登録番号

喰酔処
こらんしよ
 会津若松市東千石1丁目2-21
 (千石ニュータウン)
 TEL (0242) 28-8051

収入印紙

2024年02月07日
 一連No. 025020
 領収No. 000002

領 収 書

お代客俱樂部と無会派 星隆小児 様

¥3,890-

対象計 10.0% ¥3,890-
 内税 ¥354-

(但し能飲食代)として、正に領収致しました)
 印刷面を内側に折って保管願います

民宿・食堂

おふくろ

福島県大沼郡金山町大字川口字下町601
 TEL・FAX: 0241-54-2429

登録番号: T4-8108-8845-7926

様式第8号（第7条第1項第1号ア及び同項第2号イ関係）

市政に関する調査研究に資するために要した経費記録簿（兼）

政 務 活 動 費 活 動 記 録 簿

令和6年2月7日

角田市議会議長 馬場 道晴 殿

会派名 かくだ未来倶楽部

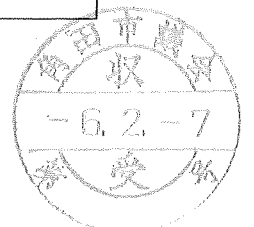
代表者 武藤 広一

（又は代表議員名）

下記のとおり実施したので報告します。

出張期間	令和6年2月6日（火）～ 令和6年2月7日（水）
場 所	福島県庁・福島県大沼郡金山町役場
相手方	福島県生活環境部 生活交通課・金山町役場 企画課
出張者名	かくだ未来倶楽部 武藤 広一、菅野 マホ、瀧口 聖人 無会派 星 隆悦
出張の目的 （○を記入）	研究会・研修会・講演会・会議 <input checked="" type="checkbox"/> 視 察 広報・公聴 調 査 その他（ ）
概要・結果等	別紙のとおり

※記入する欄が足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

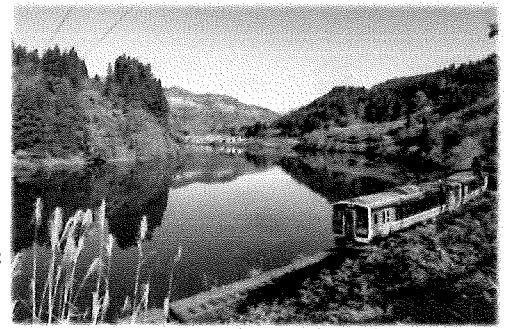


かくだ未来倶楽部視察研修会

テーマ 「只見線の取組について」

かくだ未来倶楽部 武藤広一、菅野マホ、瀧口聖人

無会派 星 隆悦



1日目 令和6年2月6日(火) 福島県生活環境部生活環境課

2日目 令和6年2月7日(水) 福島県金山町企画課

只見線乗車 会津若松駅 ⇒ 会津川口駅

1. 福島県生活環境課での概要

・近況

平成23年7月新潟・福島豪雨により被災し、鉄橋の流出や土砂崩れによる線路の崩壊など甚大な被害を受け、特に会津川口駅(金山町)～只見駅(只見町)間では、只見川に架かる第5、第6、第7の橋りょうが流出した。

・復旧費用 最終的には 約90.7億円 負担割 国1/3 県1/3 地元1/3

・平成28年度第2回只見線復興推進会議

地元の総意として、上下分離方式による復旧方針を決定

運営費 県7割 市町村3割

※上下分離方式とは、鉄道の運行(上)をJR行い、鉄道施設等の維持管理(下)を別の組織が担う方式。現在、下の部分は福島県が担っている。

※阿武隈急行線の場合も「みなし上下分離方式」で運行しており、上は阿武隈急行が、下は沿線市町村が担っている形です。

・令和4年10月に全線開通し現在に至る。

・第2期只見線利活用計画 ⇒ 別紙参照

・奥会津郷土写真家 星 賢孝 氏は、とにかく只見線が大好きで、年間300回も乗車する方で、星氏がSNS等を通じて内外に発信し、現在では台湾等からの観光客(インバウンド)が急増している。

・星氏の言葉 「只見線がなくなったら、奥会津は消滅する、只見線を応援する声は、国や県、市町村を動かし、復旧費や維持費は負担ではなく、必要な「投資」だと認識してくれた」

2. 金山町企画課での概要

・只見線上下分離方式区間 会津川口駅(金山町)～只見駅(只見町)

・現在の運営費(上下分離の「下」) 約2億1千万円

内訳 7割 福島県 1億4千7百万円

3割 会津17市町村 6千3百万円

内訳 沿線(若松市・只見町・金山町等) 97%

非沿線(喜多方市・南会津町・昭和町等) 3%

金山町負担 13,033,000円(年間) ◀ 上限値

・ 鉄道復旧合意までに、こんなことしました

1. 只見線通勤運動
2. 会議等での只見線利用
3. 只見線に乗ろうキャンペーン
4. 只見線のりのり倶楽部設立
5. 復旧募金活動
6. 児童生徒の乗車促進
7. 只見線町民号の実施
8. 復旧嘆願ハガキ運動



福島県庁にて

・ 全線運転再開が決まって、こんなことやりました（新運動記述）

1. 只見線に手を振ろう運動
2. 沿線景観整備（立木伐採等）
3. 新たな補助金制度
4. 町内を花で彩ろう運動
5. 全戸のぼり旗
6. イベント（映画・レールウォーク）

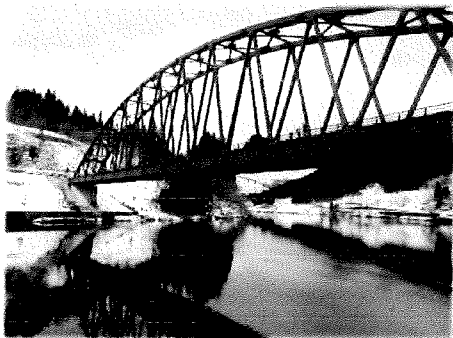


・ 現在はこんな事業を実施しています（新運動記述）

1. 町民向け只見線ツアーの実施
2. 只見線周辺的环境整備
3. 只見線を活用した地域づくりの応援
4. ふるさと納税の活用
5. 二次交通への取組
6. 高校・大学と連携した取り組み



只見線にて



金山町役場にて



金山町役場議場にて



目指すべき姿

只見線が地域の暮らしや文化、産業を支え輝かせる
日本一の「地方創生路線」



基本方針

只見線の「価値」を地方創生（住みたい、住み続けられる
まち）に活かす・つなげる

只見線の5つの価値

- ① **生活を支える交通ネットワークとしての価値【交通】**
→（目標）奥会津地域の住民が年に1回以上只見線を利用
- ② **交流人口を呼び込む観光資源としての価値【交流人口】**
→（目標）只見線沿線地域の観光客入込数年間620万人以上
- ③ **地域の象徴、誇らしさ、拠り所としての価値【象徴】**
→（目標）奥会津地域住民の8割以上が只見線を地域のシンボルとして認識
- ④ **関係人口を生む地域資源としての価値【関係人口】**
→（目標）「只見線に関する事業」に用途を指定したふるさと納税件数年1,500件以上
- ⑤ **交通以外で日々の暮らしに役立つ価値【暮らし】**
→（目標）新たな只見線の活用方法の実現件数延べ5件以上

10の重点プロジェクト

1		目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト 会津地域ならではの企画列車を運行し、将来的にはJR五能線リゾートしらかみのような、只見線オリジナルの観光列車の定期運行を目指す。
2		奥会津景観整備プロジェクト 奥会津の風景を阻害している杉や雑木を伐採し、車窓や沿線のビューポイントを創出する。また、駅や線路沿いの美化活動を推進する。
3		只見線学習列車プロジェクト 既存の教育プログラム等とも連携し、駅や列車内、沿線地域で環境教育や体験学習等を展開することで、活きた知識の習得と郷土愛の心を育む。
4		インバウンド誘客再加速化プロジェクト 台湾等の東アジアをターゲットとしたプロモーションを積極的に展開するとともに、沿線地域の受入体制を強化する。
5		只見線を介した関係人口創出プロジェクト 只見線の存在を関係人口の創出につなげていくため、大学生などの交流活動の展開や只見線応援団が活躍できる場を創出・拡大する。
6		みんなの只見線プロジェクト～只見線に乗って～ 地域の機運を高め、マイルール価値を醸成することで、只見線の利用促進を図るとともに、来訪者へのおもてなしの心を醸成する。
7		只見線産業界育成プロジェクト カイドの育成や商品開発など、只見線を活用しながら、地域ならではの産品を育成することで、住民が活躍できる場を創出する。
8		只見線二次交通整備プロジェクト 両河バスやレンタサイクル、レンタカー等の二次交通の整備により、生活利便、観光利用の面で只見線の利用促進を図る。
9		只見線の新たな価値創造プロジェクト～幸せを運ぶ只見線～ 只見線のホテルやレストラン等に活用し、生活の利便性や暮らしやすさの向上につながるような、新たな只見線の活用方法を検討・試行する。
10		只見線魅力発信プロジェクト 只見線のプロモーションを強化し、ウェブページやSNS、テレビなど、様々な媒体により地域の魅力を発信する。

只見線の取組について

(本日のお話)

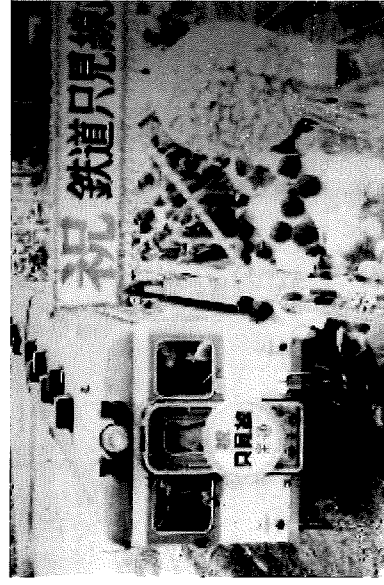
- 1 全線運転再開までの経緯
- 2 只見線の維持管理
- 3 只見線の利活用
- 4 今後の課題

令和6年2月6日
福島県生活交通課

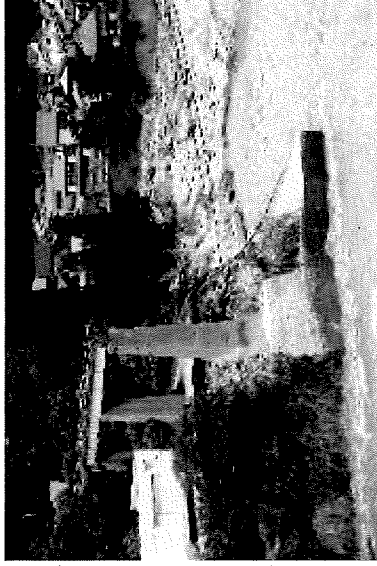
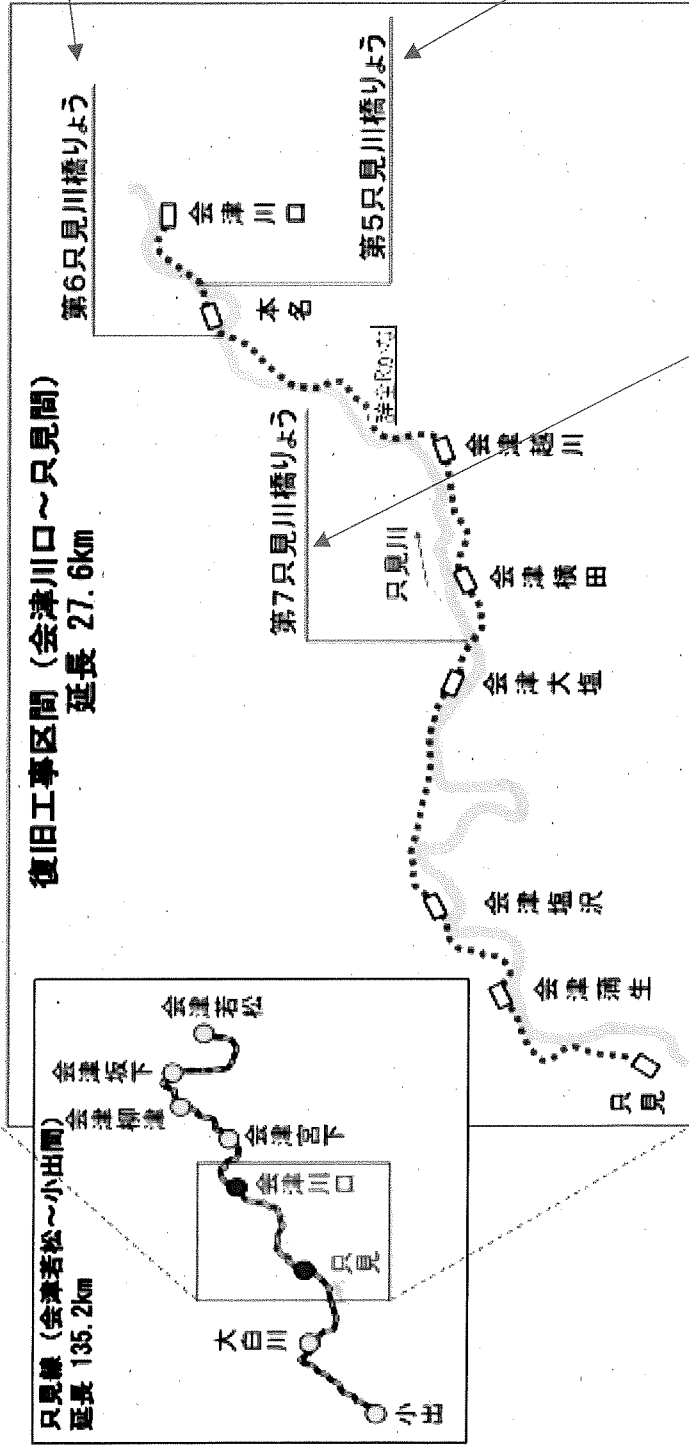
1 全線運転再開までの経緯

- JR只見線は、会津若松駅と小出駅（新潟県魚沼市）を結ぶ全長135.2kmの路線
- 会津若松駅を起点とした「会津線」と、小出駅を起点とした「只見線」、また、電源開発に伴う田子倉ダム建設の資材輸送鉄道がつながり、1971年（昭和46年）に現在の只見線へ

- 1926年（大正15年） 会津線として会津若松駅から会津坂下駅間が開業
- 1928年（昭和 3年） 会津坂下駅から会津柳津駅間が延伸開業
- 1941年（昭和16年） 会津柳津駅から会津宮下駅間が延伸開業
- 1956年（昭和31年） 会津宮下駅から会津川口駅間が延伸開業
- 1957年（昭和32年） 電源開発(株)専用鉄道による貨物輸送を開始
1961年まで田子倉ダム建設輸送を実施
- 1963年（昭和38年） 電源開発(株)より譲渡を受け、
会津川口駅から只見駅間が延伸開業
- 1971年（昭和46年） 只見駅から大白川駅間が延伸開業
小出駅からの只見線と統合し、
会津若松駅から小出駅間135.2kmとなる。



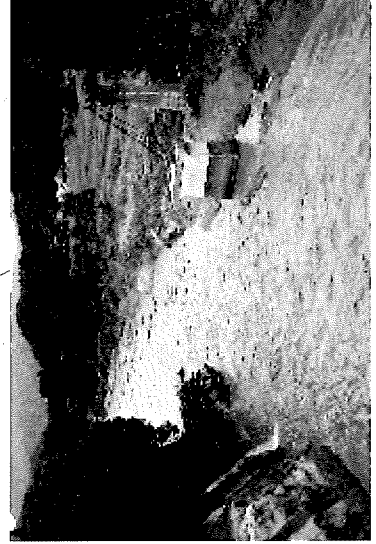
- 只見線は、鉄橋の流出や土砂崩れによる線路の崩壊など甚大な被害を受け、特に会津川口駅～只見駅間では、只見川に架かる第5、第6、第7の橋りょうが流出



第6只見川橋りょう



第5只見川橋りょう



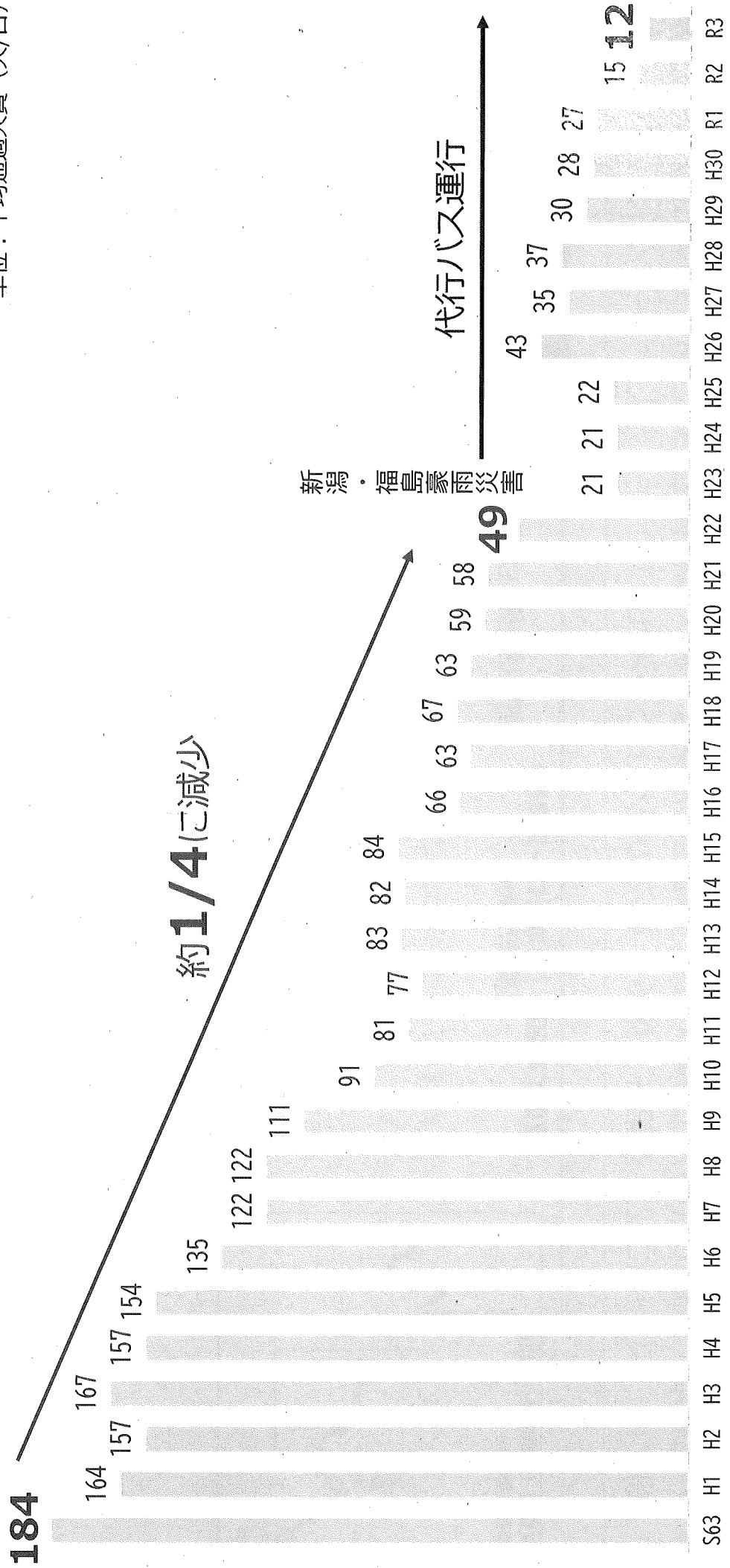
第7只見川橋りょう

復旧費用は約85億円（当時）

最終的には約90.7億円へ

- 会津川口駅から只見駅間の平均通過人員（人/日）は、JR民営化後のS63年度184人/日に対し、新潟・福島豪雨災害前のH22年度は**49人/日**で約**4分の1**まで減少
- 豪雨災害後は代行バスを運行し、再開通前の令和3年度は12人/日

単位：平均通過人員（人/日）



出典：JR東日本「路線別ご利用状況」

- 平成23年8月 新潟・福島豪雨による被災
- 平成25年11月 会津17市町村、新潟県、魚沼市等による「只見線復興推進会議」発足
- 平成28年3月 県と沿線市町村による「只見線復興推進会議検討会」発足以降、計7回にわたり上下分離方式による鉄道復旧の方針を議論
- 平成29年6月 県とJR東日本との間で上下分離方式による「只見線（会津川口駅～只見駅間）の鉄道復旧に関する基本合意書・覚書」を締結
- 平成30年6月 改正鉄道軌道整備法成立（議員立法）
復旧工事起工式
- 平成31年4月 県庁内に只見線再開準備室設置
- 令和3年11月 県の第三種鉄道事業の許可
- 令和4年5月 全線運転再開日を「令和4年10月1日」にすると共同記者発表
- 令和4年8月 会津若松駅内に只見線管理事務所設置
- 令和4年10月 只見線全線運転再開



基本合意書・覚書の締結（平成29年6月）

- 平成23年7月 新潟・福島豪雨による被災
災害後速やかに会津若松～会津坂下駅間の運転再開
- 平成23年8月 会津坂下～会津宮下駅間の運転再開、大白川～小出駅間の運転再開
- 平成23年12月 会津宮下～会津川口駅間の運転再開、会津川口～只見駅間の代行バス運行
- 平成24年8月 只見～大白川駅間の代行バス運行（国道252号の通行止め解除）
- 平成24年10月 只見～大白川駅間の運転再開
- 平成25年1月 知事がJR東日本に対し、全線復旧を要望
- 平成25年3月 田子倉駅（只見～大白川駅間）の廃止
- 平成25年5月 JR東日本が復旧費用試算結果等を公表
復旧費用は約85億円、復旧に要する期間は4年以上
- 平成25年8月 知事、沿線7市町村長が国土交通省、復興庁に要望
- 平成25年11月 第1回只見線復興推進会議（会長：知事）の開催
【構成団体】県、会津17市町村、新潟県、魚沼市、関係団体
【検討事項】運転再開に向けた財政的支援の検討・実施、利活用促進
- 平成25年12月 県と会津17市町村で「只見線復旧復興基金」の積立てを決定
復旧費約85億円の1/4に当たる21.25億円を県70%、市町村30%で積立て

■平成28年3月 只見線復興推進会議検討会（会長：副知事）の立ち上げ
 県、沿線7市町長を構成員、国土交通省及びJR東日本をオブザーバーとして、復旧方法、利活用促進、地域振興策等を計7回にわたり検討

開催日	主な内容
第1回 (H28.3月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元は、早期に全線復旧してほしいとの強い意思を表明 ● JRは、利用状況は非常に厳しいとして、次回までに鉄道復旧の条件とバス転換の概要を示すとした
第2回 (H28.5月)	<ul style="list-style-type: none"> ● JRは、鉄道復旧は困難であり、バス転換を提示 ● 地元は、地元負担が増加したとしても、鉄道復旧の方策を提示するよう要請
第3回 (H28.6月)	<ul style="list-style-type: none"> ● JRは、復旧費の地元負担に加え、「上下分離方式」を提案 ● 地元は、厳しい条件であるが、前向きに受け止めるとの意見
第4回 (H28.9月)	<ul style="list-style-type: none"> ● バス転換と上下分離方式による鉄道復旧について比較検討し議論
第5回 (H28.11月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 復旧費の2/3を地元負担、1/3をJRが負担することで合意 ● 住民懇談会を開催し、鉄道復旧案とバス転換案を諮ることを決定
第6回 (H28.12月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 上下分離方式による鉄道復旧方針を全会一致で合意 ● あわせて、利活用プロジェクトチームの立ち上げを決定
第7回 (H29.1月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 上下分離方式による鉄道施設の保有・管理主体は県が担うことを決定 ● 地元負担軽減の観点から、復旧費負担は県が覚悟を持って取り組むこと、運営主体は人的にも県が中心となり、負担割合は県7：市町村3で進めることで合意

■平成28年11月 只見線沿線市町村住民懇談会（会津美里町会場）

対象市町村	会津若松市、会津坂下町、柳津町、会津美里町
出席者	地元代表者20名（市町村推薦）、一般傍聴者約20名
主な意見	全体としては、復旧費に加え、運営費の地元負担が将来にわたり重くのしかかることを心配する声と、地域の宝である只見線の復旧を望む声が拮抗

■平成28年12月 只見線沿線市町村住民懇談会（金山町会場）

対象市町村	只見町、三島町、金山町
出席者	地元代表者20名（市町村推薦）、一般傍聴者約30名
主な意見	全体としては、鉄道復旧を強く望む声が多数を占めたものの、運営費の地元負担が将来にわたり続くことを心配する声や、鉄道復旧に当たっては上下分離方式ではなく、JRや国が責任を持って復旧すべきという意見もあった

■平成29年2月 平成28年度第1回只見線復興推進会議

上下分離による復旧方針（案）と、県・市町村間の確認書（案）を確認

■平成29年3月 平成28年度第2回只見線復興推進会議

地元の総意として、上下分離方式による復旧方針を決定
 運営費の負担割合（県7：市町村3）等を定めた確認書の取り交わし

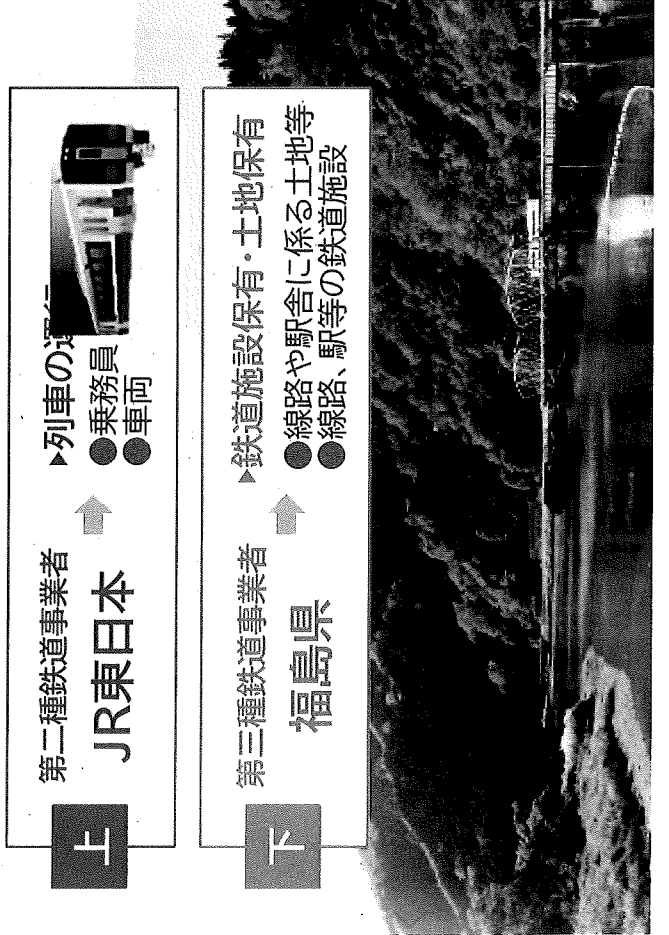
■平成29年6月 県とJR東日本との間で上下分離方式による「只見線（会津川口駅～只見駅間）の鉄道復旧に関する基本合意書・覚書」を締結

鉄道による 復旧	<ul style="list-style-type: none"> ● JR東日本は、県及び会津17市町村からの要請に基づき、会津川口～只見駅間を鉄道で復旧 ● 県は、会津川口～只見駅間の鉄道施設等を保有し、JR東日本は、保有車両を用いて運行（被災前の1日当たり3往復を基本）
復旧工事	<ul style="list-style-type: none"> ● 復旧工事は、JR東日本が実施 ● 復旧費用の負担割合は、県が2/3、JRが1/3
鉄道施設等 の譲渡	<ul style="list-style-type: none"> ● JR東日本は、会津川口～只見駅間の鉄道施設等を県に無償で譲渡
鉄道事業の 許可	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転再開までに、県は「第三種鉄道事業者」、JR東日本は「第二種鉄道事業者」の許可を取得
鉄道施設等 の使用料	<ul style="list-style-type: none"> ● 県は、JR東日本に使用料の請求を行うが、JR東日本が使用料を支払うことにより、収支に欠損が生じないよう減免
鉄道施設等 の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 県は、譲渡を受けた鉄道施設等の維持管理を行い、災害復旧や資本的支出を要する場合等を含めて鉄道施設等に係る費用を負担
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 県は、会津川口～只見駅間以外を含めた只見線全線の厳しい利用状況を理解し、持続可能な運営に向け、JR東日本と共に主体的に只見線の利用を促進

2 只見線の維持管理

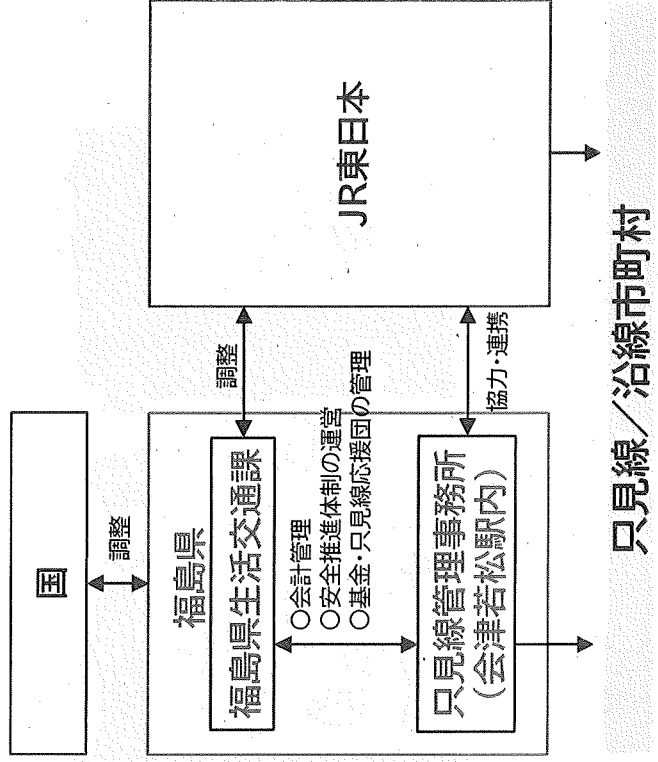
上下分離方式

- 会津川口駅～只見駅間については、「上下分離方式」を採用
- 上下分離方式とは、鉄道の運行（上）と鉄道施設等の維持管理（下）を別の組織が担う方式
- 只見線（会津川口～只見駅間）の場合、鉄道の運行（上）をJR東日本が、鉄道施設等の維持管理（下）を福島県が担う

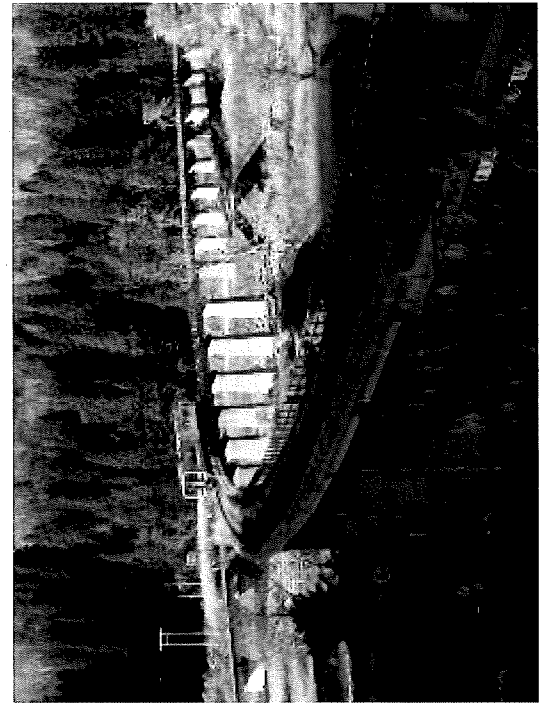


維持管理体制

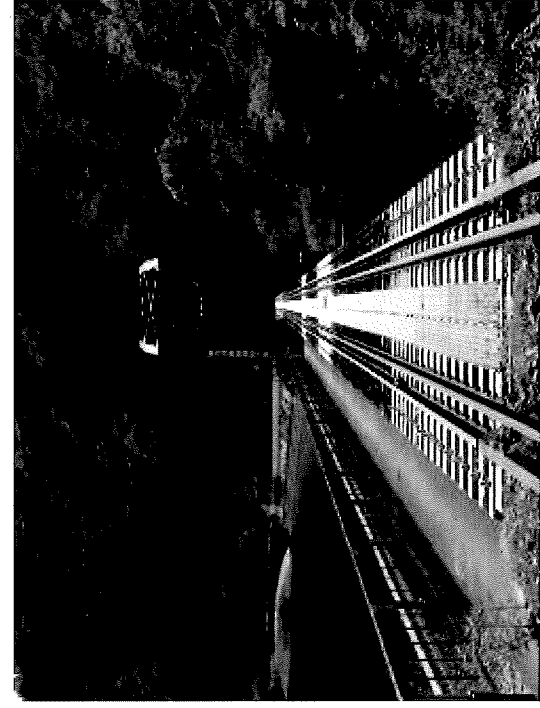
- 福島県では、復旧後の会津川口駅～只見駅間の維持管理を行うため、**令和4年8月1日**に「**只見線管理事務所**」を設置
- 職員は安全管理統括監 + 所長以下7名体制（うち3名はJR派遣）
- 県管理区間内の鉄道施設の維持管理と、本庁と役割分担の上、只見線の利活用を所掌



- 維持管理を行う県管理区間内の主な鉄道施設は、以下のとおり
- JR東日本から譲渡を受けた鉄道用地・施設は約2,000件（土地1,926件（66.4万㎡）、駅舎等9件）



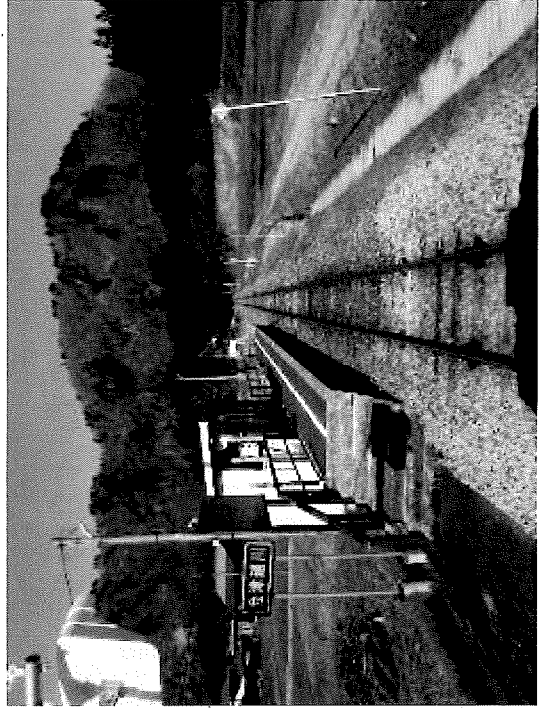
線路26.9km



66橋梁（2,605.3m）



5トンネル（4,453.0m）



6駅（1面：24.5m）

1 検査、修繕・改良工事等

土木、線路、線路、信号通信、建築の各系統の鉄道施設（線路、駅舎、橋梁、トンネル、踏切、電力設備、信号設備、通信設備など）の検査、保守修繕、監督等

2 災害警備等

JR東日本が定める基準や警備区分に基づく発令により、現場状況の確認等
踏切・通信故障等障害発生時、職員を現地向かわかせ通行者等の対応、現地確認、復旧措置

3 運転保安手続き

鉄道工事が列車運行の合間に行われる特性を踏まえた作業条件の管理
(例) 列車ダイヤの取得、各作業現場間の競合調整、線路閉鎖工事等の着手、終了の承認要請等

4 除雪

冬期間は、踏切や法面、ホーム等の除雪を実施（週休日・休日等においても出勤する体制）

5 財産（用地）管理

6 安全教育実績等の管理

7 関係法令等に関する業務

- ・ 監査（鉄道事業等監査規則）：国土交通省令に定められた保安監査、業務監査、会計監査
- ・ 安全報告（鉄道事業法）：安全確保のために講じた措置及び講じようとする措置を公表
- ・ 統計報告（統計法）、鉄道事故等報告（鉄道事業法）
- ・ 近接協議（建設工事公衆災害防止対策要綱）
軌道敷内又は軌道敷に近接して行われる土木作業等についての協議
- ・ 鉄道施設の変更に伴う認可申請（鉄道事業法）
- ・ 各種規程や基準の管理

- 現在、只見線管理事務所には、JR東日本から技術職3名を派遣いただいているが、派遣期間終了後の維持管理体制の確保が急務（信号通信職は令和6年11月末まで、鉄道士木職は令和6年度末まで、保線職は令和9年10月末まで）
- このため、福島県職員として初の「鉄道技術職」の採用募集を決定

■ 鉄道技術職募集案内（抜粋）

募集職種	工務（保線）	信号通信
募集人数	1名程度	1名程度
年齢要件	1973年4月2日以降生まれ (49歳以下)	1973年4月2日以降生まれ (49歳以下)
資格要件	① 高校・大学等の土木関係学科を卒業又は卒業見込み ② 高校卒業後、鉄道事業の保線又は鉄道士木関連の業務経験期間が通算5年以上 ※ほか視力要件等あり	① 高校・大学等の電気・機械関係学科を卒業又は卒業見込み ② 高校卒業後、鉄道事業の信号通信関連の業務経験期間が通算5年以上 ※ほか視力要件等あり
募集期間	令和5年9月15日～10月12日	令和5年9月15日～10月12日

3 只見線の利活用

●平成29年6月にJR東日本と福島県との間で締結した「只見線(会津川口～只見駅間)の鉄道復旧に関する基本合意書・覚書」において、運行は「被災前の1日当たり3往復を基本」とされている

只見線(下り) 時刻表

Table with columns: 営業キロ, 列車番号, 始発, 2421D, 423D, 425D, 427D, 8429D, 431D, 433D, 435D, 437D. Rows include stations like 会津若松, 七日町, 西若松, etc.

只見線(上り) 時刻表

Table with columns: 営業キロ, 列車番号, 始発, 422D, 424D, 426D, 428D, 430D, 432D, 434D, 8436D. Rows include stations like 小湊, 藪後, 越後, etc.

※会津若松駅から小出駅までの全線区間は1日3往復(オレンジの着色部分)

目指すべき姿

只見線が地域の暮らしや文化、産業を支え輝かせる
日本一の「地方創生路線」

基本方針

只見線の「価値」を地方創生（住みたい、住み続けられる
 まち）に活かす・つながる

只見線の5つの価値

- ① **生活を支える交通ネットワークとしての価値【交通】**
 →（目標）奥会津地域の住民が年に1回以上只見線を利用
- ② **交流人口を呼び込む観光資源としての価値【交流人口】**
 →（目標）只見線沿線地域の観光客入込数年間620万人以上
- ③ **地域の象徴、誇らしさ、拠り所としての価値【象徴】**
 →（目標）奥会津地域住民の8割以上が只見線を地域のシンボルとして認識
- ④ **関係人口を生む地域資源としての価値【関係人口】**
 →（目標）「只見線に関する事業」に用途を指定したふるさと納税件数年1,500件以上
- ⑤ **交通以外で日々の暮らしに役立つ価値【暮らし】**
 →（目標）新たな只見線の活用方法の実現件数延べ5件以上

10の重点プロジェクト

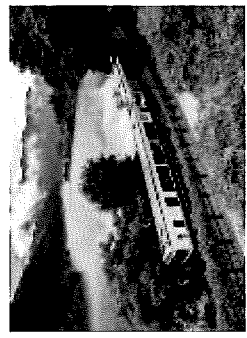
1		目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト 会津地域ならではの企画列車を運行し、将来的にはJR五能線リゾートしらかみのような、只見線オリジナルの観光列車の定期運行を目指す。
2		奥会津景観整備プロジェクト 奥会津の風景を閉塞している杉や雑木を伐採し、草花や沿線のビューポイントを創出する。また、駅や線路沿いの美化活動を推進する。
3		只見線学習列車プロジェクト 既存の教育プログラム等とも連携し、駅や列車内、沿線地域で環境教育や体験学習等を提供することで、活きた知識の習得と郷土愛の心を育む。
4		インバウンド誘客再加速化プロジェクト 台湾等の東アジアをターゲットとしたプロモーションを積極的に展開するとともに、沿線地域の受入体制を強化する。
5		只見線を介した関係人口創出プロジェクト 只見線の特長を関係人口の創出につなげていくため、大学生等の交流活動の展開や只見線応援団が活躍できる場を創出・拡大する。
6		みんなの只見線プロジェクト～只見線に乗って～ 地域の機運を高め、マイルール意識を醸成することで、只見線の利用促進を図るとともに、来訪者へのおもてなしの心を醸成する。
7		只見線産業育成プロジェクト カイドの育成や商品開発など、只見線を活用しながら、地域ならではの産業を育成することで、住民が活躍できる場を創出する。
8		只見線二次交通整備プロジェクト 両道バスやレンタサイクル、レンタカー等の二次交通の整備により、生活利便、観光利用の面で只見線の利用促進を図る。
9		只見線の新たな価値創造プロジェクト～幸せを運ぶ只見線～ 只見線のポテンシャルを最大限に活用し、生活の利便性や暮らしやすさの向上につなげるような、新たな只見線の活用方法を検討・試行する。
10		只見線魅力発信プロジェクト 只見線のプロモーションを強化し、ウェブページやSNS、テレビなど、様々な媒体により地域の魅力を発信する。

- 只見線ならではの企画列車の運行
トロッコ列車「風っこ号」や会津鉄道の「お座トロ展望列車」等を運行
- 只見線乗車とセットにしたバスツアー等の運行
只見線のダイヤを補い、只見線の乗車と奥会津の体験を組み合わせた観光周遊バスツアーを実施
- 只見線ならではのおもてなし
土日祝日の定期列車で絶景ポイントの低速運転、車内での特産品販売、車窓ガイド等のおもてなし
- 地域資源活用による学習列車の実施
県内小学校、特別支援学校を対象に地域の文化や只見線の復旧までの経過等を学ぶ学習列車の実施
- 只見線全線運転再開1周年記念イベントの開催
1周年の感謝を込め、記念列車の運行など、沿線自治体と連携し、記念イベントを開催（令和5年10月1日）
- 只見線を学び発表する第2回高校生サミットの開催
県内外の高校生が只見線や奥会津地域の課題を学び、利活用策について発表するサミットを開催（令和5年12月10日）

[参加高校] 県内3校（会津高、只見高、ふたば未来学園高）
 県外3校（新潟県立長岡高、長野県立蟻ヶ崎高、桐蔭学園高）



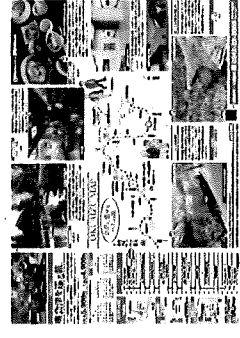
風っこ号車内の様子



お座トロ展望列車の運行



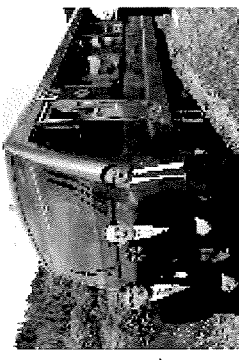
観光周遊バスツアーチャラシ



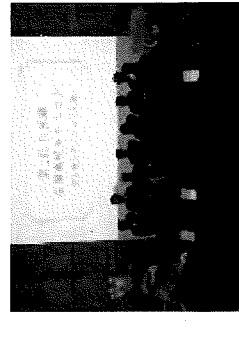
車内販売のおもてなし



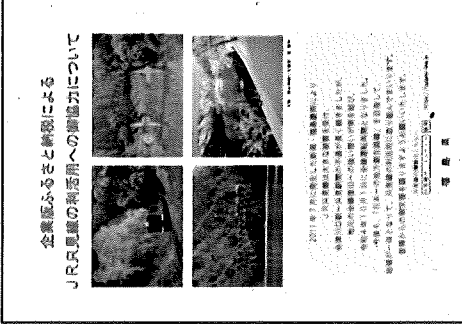
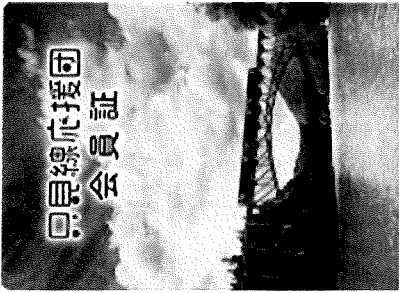
学習列車の様子



記念列車「海里」の運行
（1周年記念イベント）



只見線全国高校生サミット



■ 只見線応援団

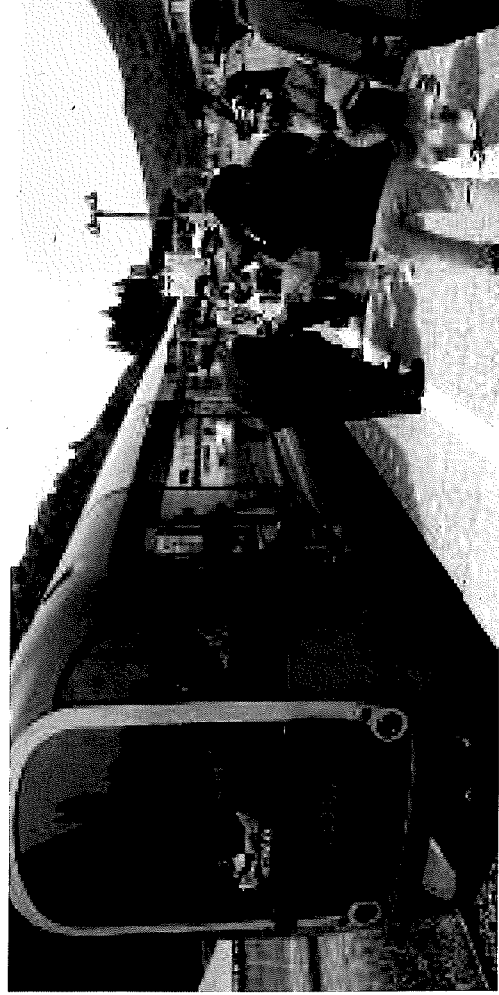
個人会員4,696人、法人会員70団体
(令和6年1月現在)

■ 企業版ふるさと納税

9件5,073,400円
(令和6年1月現在)

■ 只見線フォトコンテスト

全国から724点の応募 (前分6~9月)
現在、後期分の作品募集中



■ えちごトキめき鉄道のリゾート列車「雪月花」の乗り入れ

只見線乗り入れを歓迎する沿線住民 (令和5年6月18日)



■ 只見線列車内プロレス

魚沼市観光協会の主催
(令和5年9月30日)



■ 只見線活性化シンポジウム

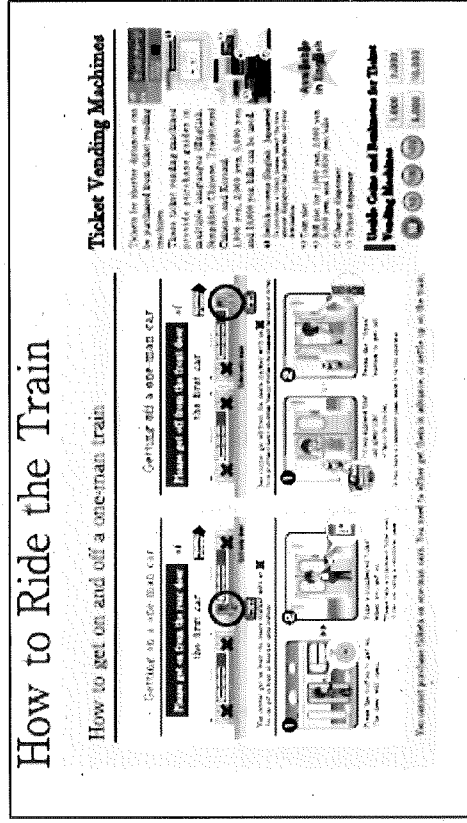
だんだんど〜も只見線沿線元気会議
の主催 (令和5年11月18日)



■只見線ガイドブック～英語版～



■只見線ガイドブック～中国語版～



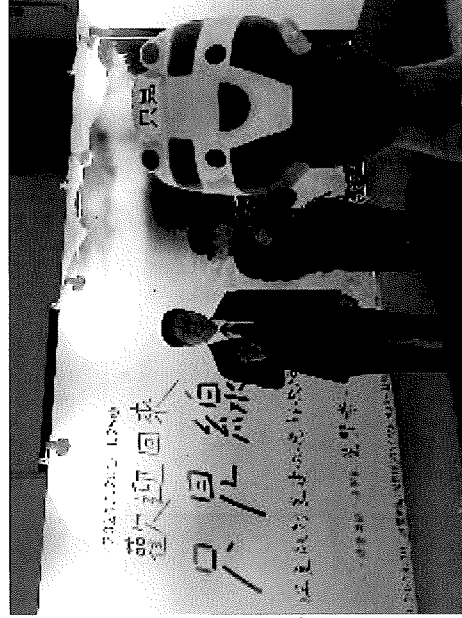
■ワンマン車両の乗り方解説
只見線ガイドブック（英語版）より

祝：福島⇄台湾便就航



JTB 航空サービス 株式会社	
福島空港	台北桃園空港 → 福島空港
16:00	19:05 10:30 — 14:30
www.jtb-air.com jtbair.jp 02-226-2261	

■令和6年1月～台湾直行便就航



■只見線台湾写真展「歓迎回家（おかえりなさい）只見線」
台湾台北市で写真展を開催（令和6年1月20～25日）
右側は、奥会津郷土写真家の星賢孝氏



子どもたちが企画・運営し、利活用の意見を
発表した「只見線子ども会議」
(令和5年9月16日、只見町)



沿線自治体では「只見線にみんなの手をふるう
条例」を制定

(只見町、柳津町、三島町、金山町、魚沼市)

第22回日本鉄道賞特別賞を受賞！

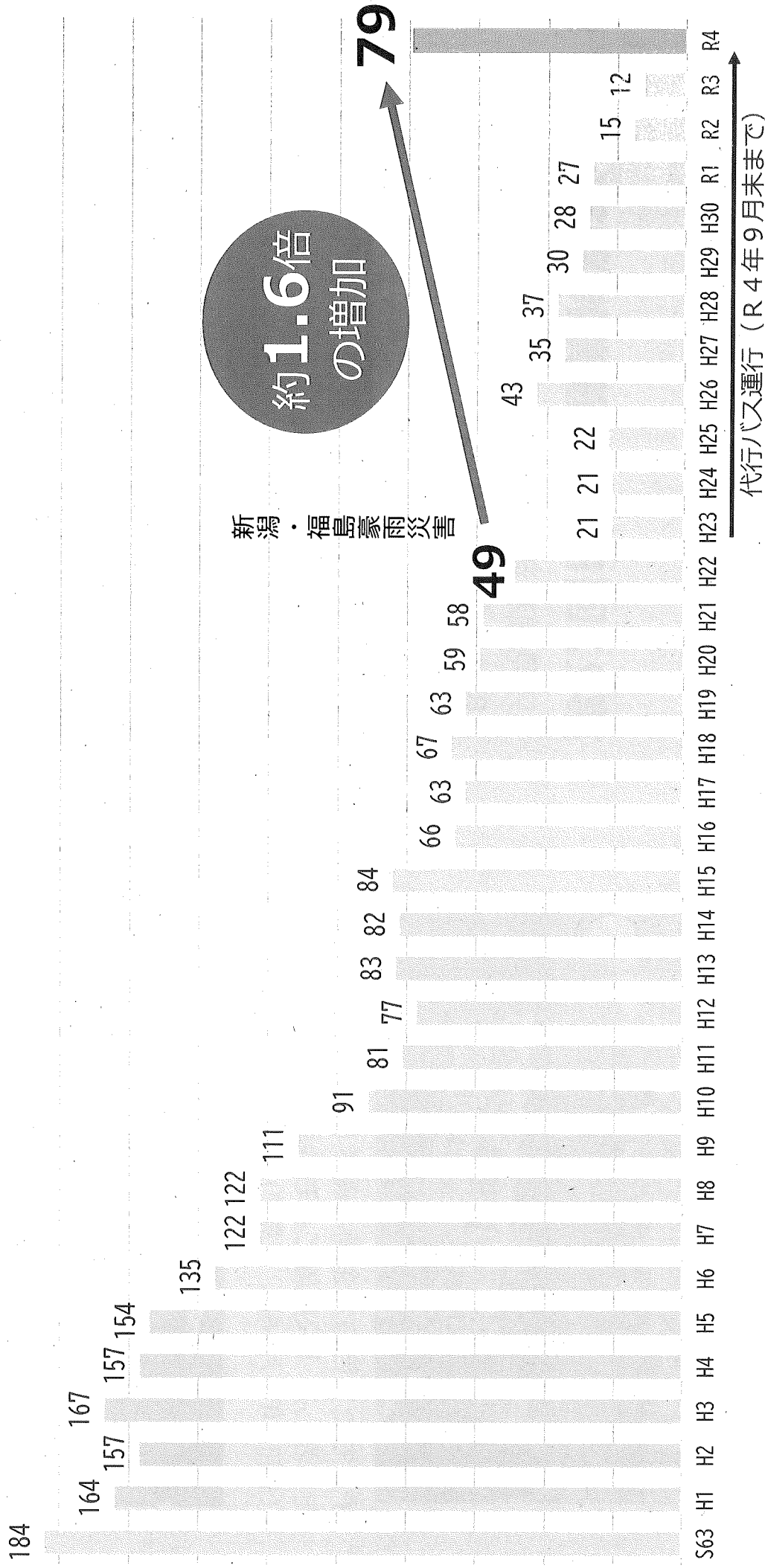
只見線利活用推進協会のおもてなしや利活
用の取組が評価され、「未来へつながる、
希望の鉄路特別賞」を受賞



第30回「鉄道の日」祝賀会の様子
(令和5年10月16日、東京プリンスホテル)

- 県管理区間（会津川口駅～只見駅間）は、令和4年10月1日からの運行であったものの、新潟・福島豪雨災害前の年間利用者数49人/日を上回り、約**1.6倍**となる**79**人/日に増加

単位：平均通過人員（人/日）



4 今後の課題

利便性の向上

ダイヤ改正、臨時列車の運行、サイクルトレインなど

二次交通の充実

パークアンドライドバスの運行、レンタサイクル、レンタカーなど

インバウンド対策

台湾など海外プロモーション、受入環境整備など

適切な維持管理

今後増加する大規模修繕への対応、鉄道技術職員の確保・育成など

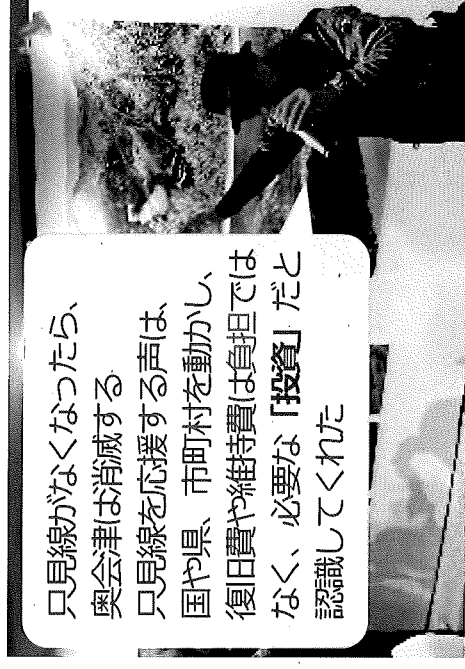
経済効果の創出

維持管理費を上回る経済波及効果の創出



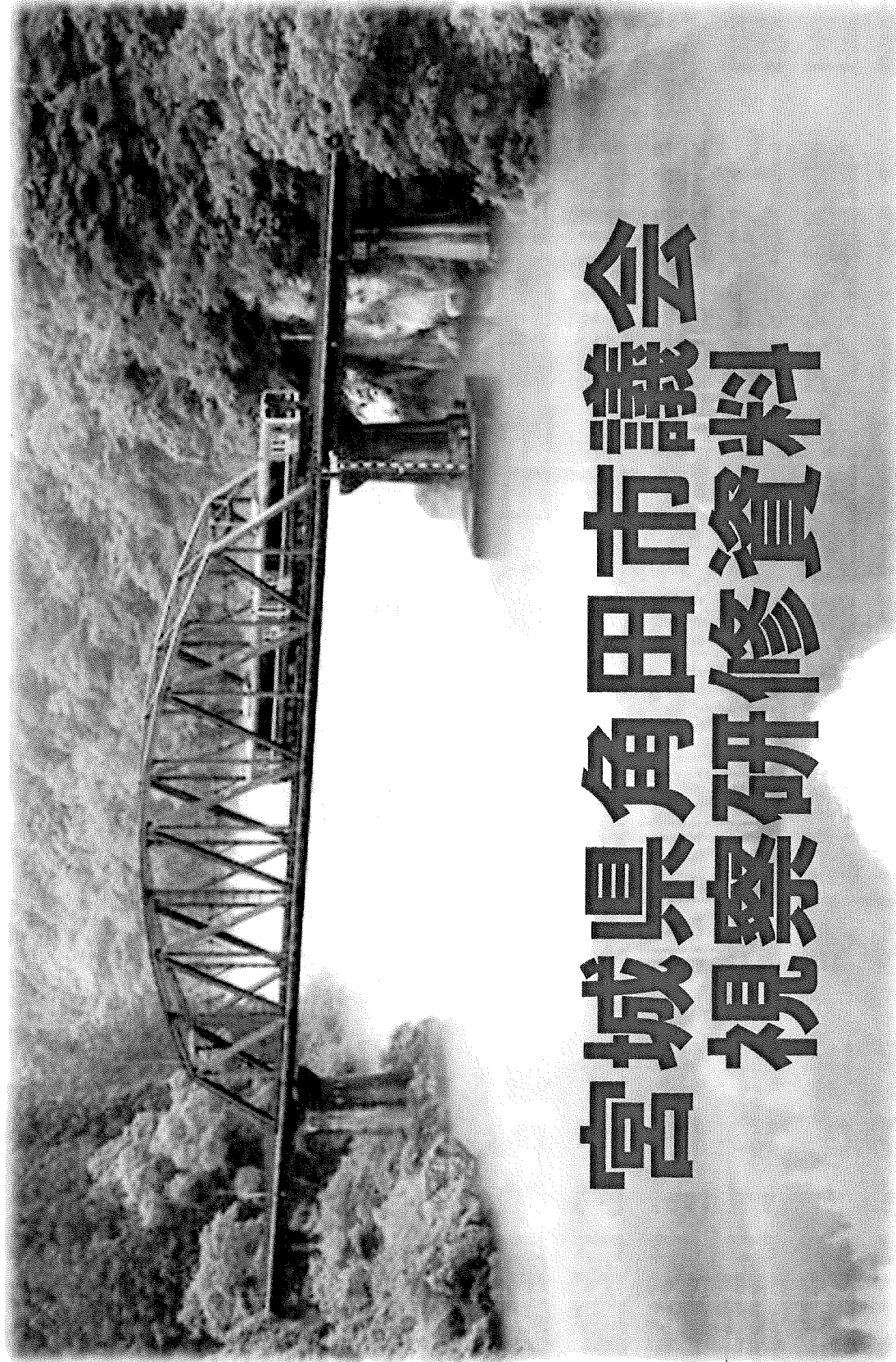
「山手線のようだ」と形容された混雑の様子（再開直後の令和4年10月頃）

区間	バス	乗車	下車
只見線	只見線	只見	10:00
		只見	11:00
只見線	只見線	只見	12:00
		只見	13:00
只見線	只見線	只見	14:00
		只見	15:00
只見線	只見線	只見	16:00
		只見	17:00
只見線	只見線	只見	18:00
		只見	19:00
只見線	只見線	只見	20:00
		只見	21:00
只見線	只見線	只見	22:00
		只見	23:00



只見線がなくなったら、奥会津は消滅する
只見線を応援する声は、国や県、市町村を動かし、復旧費や維持費は負担ではなく、必要な「投資」だと認識してくれた

奥会津郷土写真家の星賢孝氏のことば（令和6年1月、只見線台湾写真展にて）



宮城県角田市議会 視察研修資料

福島県金山町役場 企画課

【只見線の歴史】

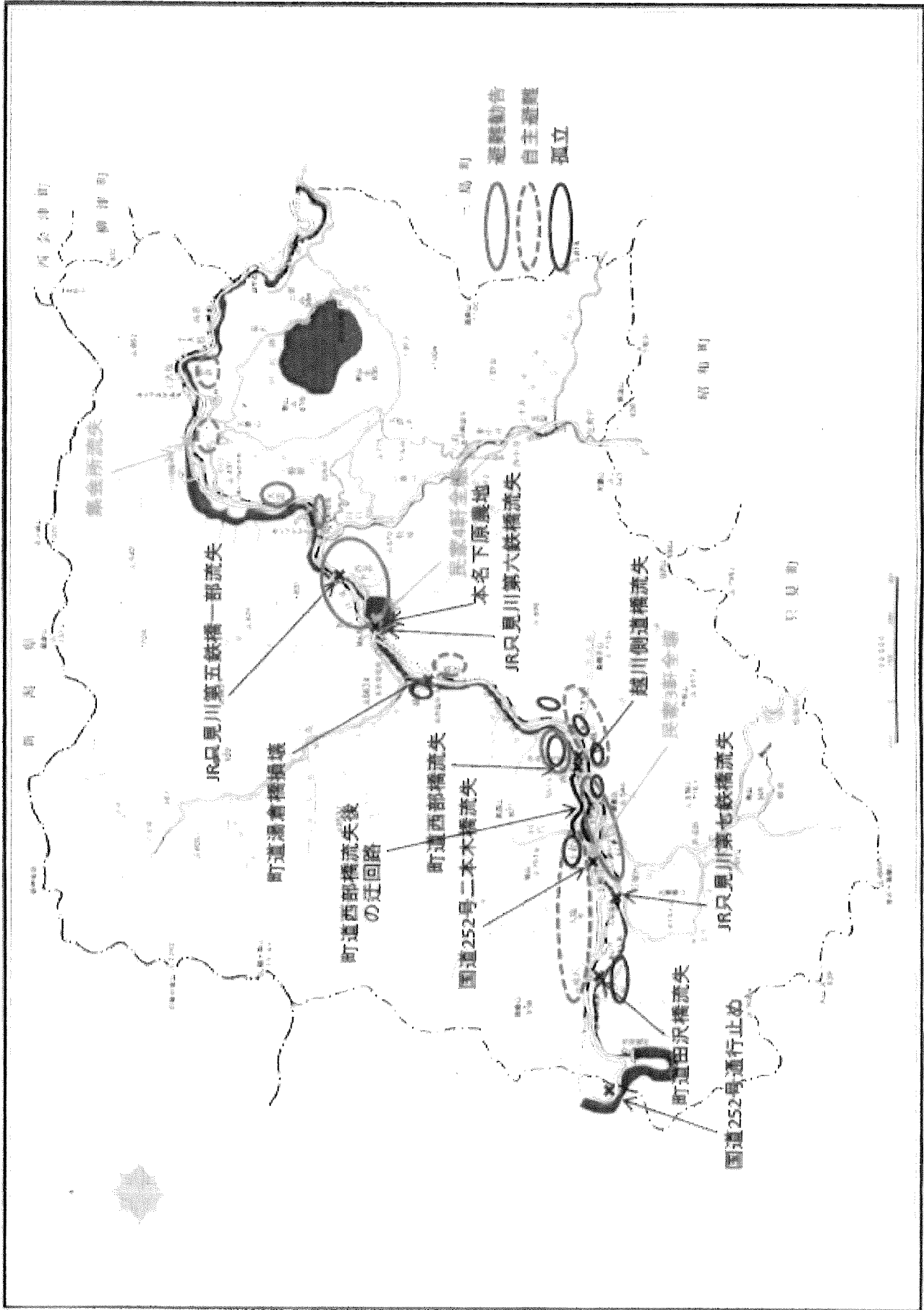
大正15年	会津線	会津若松～会津坂下	開業
昭和3年	会津線	会津坂下～会津柳津	開業
昭和16年	会津線	会津柳津～会津宮下	開業
昭和17年	只見線	小出～太白川	開業
昭和31年	会津線	会津宮下～会津川口	開業
昭和32年	電源開発(株)	田子倉専用線	
	会津川口～田子倉	開業	
昭和34年	電源開発(株)	田子倉専用鉄道終了	
昭和36年	田子倉専用線	国鉄編入決定	
昭和38年	会津線	会津川口～只見間	開業

昭和46年 只見～大白川間 開業
会津若松～小出間 只見線となる。
総延長135.2km
昭和49年 デーゼル化によりSL廃止
昭和62年 国鉄分割民営化により東日本旅客鉄
道(株) (通称：JR東日本) となる
平成23年 新潟福島豪雨により著しい被害
平成25年 県知事・沿線市町村長がJR東日本
に復旧存続要請
平成29年 鉄道復旧合意(上下分離方式)
平成30年 復旧工事起工式

令和4年10月1日 全線運転再開

金山町全図

福島県 大沼郡

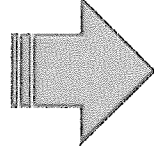


【JR只見線の主な橋梁被害（金山町内）】

- | | |
|------|------|
| 第4橋梁 | 一部損壊 |
| 第5橋梁 | 一部崩落 |
| 第6橋梁 | 流出 |
| 第7橋梁 | 流出 |

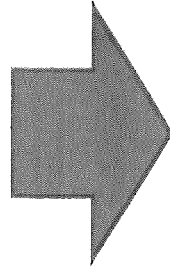
鉄道がなくなると心配されること

- 1 鉄道区間やダイヤが縮小される
- 2 運転免許を持たない方の移動手段が減る
- 3 鉄道ファンや観光客が減る
- 4 地図上からも線路が消える
- 5 災害時の替わりの交通手段が無くなる
- 6 鉄道の管理が行われなくなる
⇒景観が悪くなる
⇒仕事が無くなる



町が衰退する

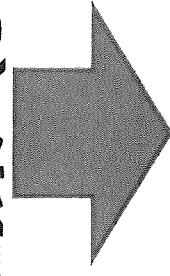
平成29年 鉄道復旧合意（上下分離方式）
平成30年 復旧工事起工式



復旧費 推定81億円
1/3 JR東日本（27億円）
2/3 福島県（54億円（うち21億円は基金））



鉄道軌道整備法改正



復旧費 推定90億円
1/3 JR東日本（30億円）
1/3 国（30億円）
1/3 福島県（30億円（うち21億円は基金））

14-9
運営費（上下分離の【下】） 推定21億円
7割 福島県 (14.7億円)

3割 会津17市町村 (6.3億円)

- ・ 沿線（若松・只見・金山等）97%
- ・ 非沿線（喜多方・南会津・昭和等）3%

金山町負担：13,033,000円（年間）

※上下分離方式…【上】列車の運行（JR東日本）

乗務員・車両

【下】鉄道施設保有・土地保有（福島県）
線路・駅舎・土地・鉄道施設

鉄道復旧合意まで
に
こんなことしました

- 1, 只見線通勤運動
- 2, 会議等での只見線利用
- 3, 只見線に乗ろうキャンペーン
- 4, 只見線のりのり倶楽部設立
- 5, 復旧募金活動
- 6, 児童生徒の乗車促進
- 7, 只見線町民号の実施
- 8, 復旧嘆願八ガキ運動

...

全線運転再開が決まって
こんなことやりました

- 1, 只見線のりのり倶楽部
 - 2, 復旧募金活動
 - 3, 只見線に手を振ろう運動
 - 4, 沿線景観整備（立木伐採等）
 - 5, 新たな補助金制度
 - 6, 町内を花で彩ろう運動
 - 7, 全戸のぼり旗
 - 8, イベント（映画・レールウォーク）
- ...

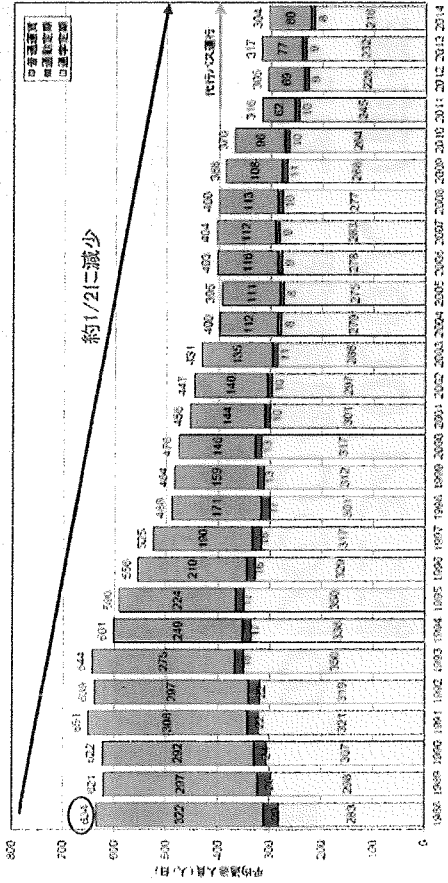
現在はこんな事業を実施
しています

- 1, 只見線のりのり倶楽部
 - 2, 町民向け只見線ツアーの実施
 - 3, 沿線の駅周辺環境整備
 - 4, 只見線を活用した地域づくりの応援
 - 5, ふるさと納税の活用
 - 6, イベント・PR活動
 - 7, 二次交通への取り組み
 - 8, 高校・大学と連携した取り組み
- ...

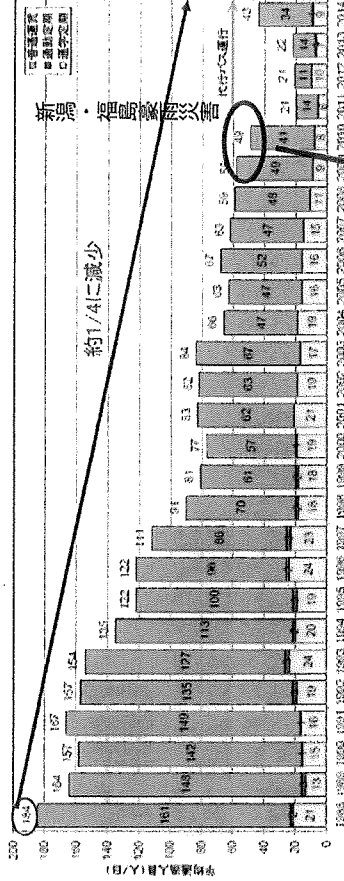
只見線利用状況の推移

1988年度から2014年度の推移をグラフ化。
 只見線全線においては約1/2に、会津川口駅から只見駅間においては約1/4に利用者が減少。

只見線全線(会津若松駅～小出駅間)※1988年度～2014年度



会津川口駅～只見駅間 ※1988年度～2014年度



約1/4に減少
 約1/6倍
 出典:2016年3月 東日本旅客鉄道株式会社「只見線」の状況について
 コロナ前 ←

区間・年度別利用状況	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	区間計
会津若松～小出	321	304	290	280	271	233	218	257	2,174
会津若松～会津坂下	1,315	1,250	1,191	1,154	1,122	1,009	978	944	8,963
会津坂下～会津川口	222	199	190	181	179	141	124	182	1,418
会津川口～只見	35	37	30	28	27	15	12	79	263
只見～小出	115	114	113	107	101	82	69	107	808
年度計	2,008	1,904	1,814	1,750	1,700	1,480	1,401	1,569	-

2015～2022年度
 の利用状況

出典:
 東日本旅客鉄道株式会社
 「路線別ご利用状況」

【参考：R4年度の数値】

- 会津川口駅構内の売店利用者
約12,000人（前年度比4,000人増）
- 道の駅入込客数
約134,000人（前年度比43,000人増）
- 「のりのり倶楽部」で助成した町民利用
1,168人（前年度比604人増）
- 駅前レンタカー利用件数
51件（R4年10月開始）
- 只見線維持管理・利活用を用途指定したふるさと納税
148件（前年度比31件増） 1,950千円（498千円増）

※コロナ禍の影響などで単純比較はできません。